

# 1 2016 年度事業報告

自 2016 年 7 月 1 日 至 2017 年 6 月 30 日

**【真宗保育理念】** 「本願に生き、ともに育ちあう保育」  
**【総合テーマ】** 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」

## 【事業総括】

2016 年度は、「子ども・子育て支援新制度」の 2 年目であったことに加え、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が同時に改訂されるという画期的な動きがあった。

これらの改訂では、教育部分と保育部分の整合性がいかに図られるかという永年の課題に加え、急激な少子化やグローバル化が予想される時代に必要となる資質・能力の育成がめざされており、大谷保育協会にとっても、「真宗保育の実践」がその流れを踏まえたものとなるよう留意しながら、以下の重点施策に取り組んだ。

## 【重点施策】

### ① 「教育としての真宗保育の実践」研究

重点施策「教育としての真宗保育の実践」研究は、乳幼児期における教育の重要性が叫ばれている現在、時宜にかなった施策目標であったが、この 1 年間においては、「真宗保育における“教育”とは何を指すのか」について明確にする作業を、『真宗保育カリキュラム』を土台に行えるよう取り組みの形を模索した。

また、重点施策①の具体的取り組みとして掲げていた「教育現場における日常的な仏事との接点作りに取り組む」については、協会内に募金活動を展開し、2017 年 4 月、大谷大学に「花みどう」を贈呈した。新年度、宗派関係学校の学生が積尊の誕生会にふれる機会となった。

公益社団法人大谷保育協会による真宗保育の実践は、決して協会内に利益を及ぼす事が目標ではない。真宗保育の普及を通じ、子どもたち、保育者、保護者等子育てにかかわる人たち、そして学生を初めとした教育関係者など、幅広い層に真宗の教えに触れてもらい、そこから人間を考える眼を得てもらう事が目的であることを忘れずに「教育としての真宗保育の実践」を追求していきたい。

### ② 研修テーマ「そだつ」にそった事業の取り組み

2016 年度も前年度に引き続き、研修テーマ「そだつ」に沿った協会主催の研修を行い、連区・支部などに対しても同テーマでの研修開催を奨励した。

あわせて、同テーマ「そだつ」で歌詞を募集した第 2 期「こどものうた」事業を継続し、機関誌などで受賞曲発表の周知を行うなど、園や関係施設等の現場で活用してもらえるような奨励を行った。

### ③ 保育心理士会員・取得予定者向けのモバイルサイトの構築と運営

保育心理士会員数が 3000 名目前となる中、2016 年 7 月から保育心理士への情報発信及び情報共有を目的としたモバイルサイト「保育心理士 ON LINE」を開

設し、会員情報やフォローアップポイント等をタブレット端末やパソコンから確認できる「保育心理士会員専用サービス」の提供を開始した。

また、保育心理士養成講座（本部主催）の Web 申込ページを新たに構築し、2017年4月より運用を開始した。

あわせて、これまで郵送していた会報「保育心理士」については、モバイルサイト上で随時公開する運用に切り替えた。

#### ④ 保育心理士養成校の拡充に向けた取り組み

2017年4月より、宗派関係学校である同朋大学大学院（人間福祉学科 子ども学専攻）において、保育心理士（1種）養成課程が新設された。

また、宗派関係学校の枠を越えて、多くの大学（特に4年制大学）において保育心理士の養成がめざされるよう、養成課程開設に関心を示す学校との関係構築を行った。

## I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

### I-1 調査研究事業

真宗保育の実践が、実際の保育現場での共通理解において行われるよう、その表現の仕方、その課題の深め方について調査研究を行った。

またこの研究結果を頒布事業、研修事業、資格認定事業に反映し、各事業の論理的な整合性を図った。

#### (1) 基礎研究

- ① 諸研究機関並びに学識経験者とともに真宗保育における課題、保育原理、カリキュラムについて学術的アプローチをおこない、体系を整え、保育、子育てにかかわる人々への普及を促進することを目的に「真宗保育理念構築会議」「真宗保育研究所会議」を開催してきた。しかしカリキュラムが完成したことをふまえて、「真宗保育理念会議」は現段階での役割を終えたものと判断し、発展的に解消した。今後は大谷保育協会の部門を越えて真宗保育における課題、カリキュラムを検討するための体制を新たな編成を試みた。

【真宗保育理念会議】会場：真宗大谷派宗務所

『真宗保育カリキュラム』の普及・活用と、真宗保育の学術的深化について、部門を越えて意見交換・協議を行った。

2017年4月13日（木）、2017年6月22日（木）

- ② 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参画し、研究会の運営と内容の探求に努めた。

期間：2017年2月6日（月）～7日（火）

会場：真宗教化センターしんらん交流館

講師：渡邊英則氏（認定こども園 ゆうゆうのもり幼保園長）

真城義磨氏（真宗大谷学園専務理事）

実践報告：鷹橋賢淳氏（大垣支部・市橋保育園）

研究発表：西村美紀氏（大谷大学・同短期大学部講師）

出席者：朝倉益光、鷹橋賢淳、田村晃徳、高木淳善

#### (2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることを鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確し、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を昨年度に引き続き実施した。その土壌育成のため第9回保育心理研究会を開催した。

・第9回保育心理研究会

期日：2017年1月22日（日）

会場：大谷大学 慶聞館及び1号館

講師：遠藤利彦氏（東京大学大学院教育学研究科 教育心理コース教授）

テーマ：「アタッチメント-子どもの社会情緒的発達について-」

分科会

	テーマ	発表者	アドバイザー
A	①園での支援の取り組み ②野外活動における子どもへの関わり方と課題	①神田 美智代氏 ②小林 智恵子氏	脇淵 徹映氏 (大谷保育協会顧問)
B	友達とうまく関係を築けない子の気持ちを受け止めることで変わってきたこと	下瀬 久美氏	佐賀枝 夏文氏 (大谷大学名誉教授)
C	子育て支援現場での保護者の抱える問題や悩みに応えるために、強化しておきたい知識や技術は何か	案浦 寿美代氏	牧野 桂一氏 (保育心理士会代表)

② 保育相談及び育成指導

研究事業及び研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び・保育者の育成指導に資するための機関誌を発行した。

## I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業及び研修事業、認定事業の成果をもとに、子どもが安心して生活できる保育内容の充実を図るための教材を、ホームページや、研修での広報を活用して頒布に努めた。

また、園児絵画展の出展作品の中から選んだ絵画を使用して「しんしゅうこどもかれんだー」を製作し、子どもたちの姿を伝えた。

### (1) 保育教材の頒布

#### ① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行った。

※2017年6月末時点（2016/7/1～2017/6/30）

教材・物品名	価格	原価	頒布数	在庫数
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	537	158
うでわ念珠 青 子ども用	150 円	124 円	3174	2116
うでわ念珠 青 大人用	150 円	134 円	1113	1076
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150 円	124 円	1420	1720
うでわ念珠 ピンク 大人用	150 円	134 円	626	674
白念珠	120 円	105 円	1654	801
念珠袋	280 円	235 円	1459	457
おつとめちょう	100 円	40 円	2566	945
真宗保育者手帳	500 円	480 円	7	36
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	32	524
八女ちょうちん	180 円	107 円	317	-
しんしゅうこどもかれんだー	280 円	205 円	5577	740
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	1	64
真宗保育カリキュラム vol. 1	1,500 円	1,827 円	98	364
真宗保育カリキュラム vol. 2	1,000 円	859 円	118	192
真宗保育カリキュラム vol. 3	1,000 円	575 円	158	589
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	7	388
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	69	337
<b>◆真宗保育ブックレットシリーズ</b>				
2. アイヌ民族文化と子育て	280 円	200 円	3	364
3. 本当に大切なこと（一楽真）	280 円	105 円	189	148
4. なぜ浄土なのだろうか（中川皓三郎）	240 円	115 円	13	189
5. いのちの教育のすすめ（田代俊孝）	240 円	145 円	11	689
6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間（加藤守孝）	220 円	134 円	8	728
7. あそび（宮城巖）	220 円	127 円	23	991
8. 敬うとは何か（加藤祐伸）	240 円	138 円	4	72
9. 宗祖としての親鸞聖人に会う（池田勇諦）	100 円	50 円	4	898
10. 真宗と保育（一楽真）	280 円	105 円	17	370
11. いのちありがとう（真城義麿）	240 円	151 円	239	1030
12. 誕生（三明智彰氏）	220 円	110 円	6	942
13. 真宗保育をデザインする（富岡量秀氏）	250 円	160 円	7	765
14. 唯我独尊の教え—誕生の意味—（吉元信暁氏）	240 円	175 円	52	641

## (2) 新教材の発行

### ① 2017年版『しんしゅうこどもかれんだー』

発行月：2016年9月

発行部数：7000部

内容：2016年報恩講園児絵画展への出品作品から選ばれた絵画を用いたカレンダー

価格：270円

### ② 真宗保育ブックレットシリーズ14 『唯我独尊の教え—誕生の意味—』

著者：吉元信暁氏（九州大谷短期大学教授）

発行日：2016年7月1日

発行部数：1800部

内容：「第16回全国真宗保育研修大会」の基調講演をもとに加筆

価格：240円

### ③ こどものうた2「そだつ」CD

発行部数：1000枚

内容：「大きくなって やさしくなって」

（作曲：中川ひろたか 作詞：渡辺英雄 歌：大谷保育協会京都支部研究委員）

「そらにむかって」

（作曲：木村雅信 作詞：井元仁江 歌：田原宏美）

「ひまわり」

（作曲：萬田一樹 作詞：壬生健太 歌：陽香(haruka)）

価格：500円（税込）

### 【2018年版『しんしゅうこどもかれんだー』作成にかかる会議】

かれんだー掲載絵画選定：2016年11月11日（金）

トリミング作業：2017年3月7日（火）

色校正：2017年6月16日（金）

### 【出版部会】会場：真宗大谷派宗務所

2017年4月12日（水）≪広報部会と併催≫

## Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

### Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、幼児教育及び保育関係者の資質向上を目指す。参加者の経験年数に応じ、新たな視点・新たな視野を発見することにより、子どもが安心して生活できる保育の実践に望めるよう研修内容をより深める取り組みをすすめた。

また、第17回全国真宗保育研修大会(高山)に向け、研修テーマ「そだつ」のさらなる周知と各支部でのテーマに基づく研修の奨励を行った。

人が生きていくうえで最も大切な「いのち」、その「いのち」の「そだち」に、どう関わっていくのか。

「寄り添うとは」「主体性のそだちとは」など、研修を通して学び、すべての保育現場で実践が確かなものになるよう研鑽に努めた。

#### (1) 研究会・研修会事業

##### ① 第60回仏教保育大学講座事前研修会

(期日) 2016年7月14日(木)

(会場) 浄土真宗本願寺派宗務所

(参加者) 仏教保育大学講座指導員・生活指導員

##### ② 第60回仏教保育大学講座(真宗十派共催・本願寺派当番)

誰しもが数年、保育を経験すれば自分の保育に対して限界やさまざまな悩みが生じる。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる。

少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深める。

(対象) 2年目以上の保育者

(期間) 2016年8月1日(月)～4日(木)

(会場) ホテル「洛兆」・龍谷大学

(講義) 五十嵐雄道氏(本願寺派円光寺住職・佐賀のホスピスを進める会幹事)

(讃歌指導) 萬田 一樹氏(大阪教育大学講師・相愛大学講師・おんぷっち保育園理事長)

辻 志穂氏(高倉幼稚園教諭)

(参加者) 106名

##### ③ 第60回仏教保育大学講座反省会

(期日) 2016年10月11日(火)

(会場) 浄土真宗本願寺派伝道本部

##### ④ 第61回仏教保育大学講座企画検討会

(期日) 2017年3月24日(金)

(会場) 真宗大谷派宗務所

⑤ 新任研修会

(趣旨) 新任職員が園に従事して持つ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点を学ぶ。また、仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義を知る。

(対象) 1年目の保育者

(期間) 2016年10月21日(金)～23日(日)

(会場) 宗務所・大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス

(テーマ) そだつ

(講師) <講義> 田村 晃徳氏 (真宗保育研究所所長)

<研修> 脇淵 徹映氏 (大谷保育協会顧問)

(参加者) 20名

⑥ 主任・中堅保育者研修奉仕団

保育を実践していくうえで、主任・中堅保育者の位置づけは非常に重要である。同朋会館を会場に、親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、真宗保育の視座を現場保育者に伝え実践していくことを確認する。

(対象) 主任・中堅保育者 (保育経験5年以上)

(期間) 2017年6月10日(土)～12日(月)

(会場) 東本願寺同朋会館

(講師) 佐賀枝夏文氏 (高倉幼稚園園長)

(テーマ) そだつ

(参加者) 7名

(特記事項) 保育心理士フォローアップ研修として開催 (3ポイント付与)

⑦ 表現研修会

日常の保育活動 (身体表現、言語表現、絵画表現など) が、人間存在の表現としてどのように展開されていくか、各々の活動の理論を聞き深め、実践をとおして体感する。

(対象) 保育者

(期間) 2017年5月20日(土)～21日(日)

(会場) 札幌大谷大学短期大学部 (北海道札幌市)

(講師) ① 清水 郁太郎氏 (札幌大谷大学短期大学部 教授)

② 高瀬 法輪氏 (大谷保育協会顧問)

(内容) 「絵画・平面表現」をとおして「そだつ」を考える

(参加者) 29名

(特記事項) 保育心理士フォローアップ研修として開催 (3ポイント付与)

⑧ 第17回全国真宗保育研修大会 (期間: 2017年7月8・9日 会場: 高山市内)  
の開催に向けて、運営支部である東海連区を中心に実行委員会、作業部会を随時開催した。



⑨ 保育士・教諭の経験年数に応じた研修の内容の充実に資するため、本部主催の研修（新任研修会、仏教保育大学講座、主任・中堅保育者研修、表現研修会）のシラバスの策定作業を進めた。

⑩ 支部と共催し、全国各地で大乘仏教の精神に基づいた子育て支援及び保育に関する研修を開催した。開催にあたっては「そだつ」というテーマ設定のもと研修を行っていただくようはたらきかけた。

連区（1）東北連区、

支部（21）北海道、仙台、東京、高田、三条、富山、高岡、能登、金沢、福井、岐阜、岡崎、名古屋、三重、京都、大阪、山陽、日豊、久留米、熊本、長崎、鹿児島

⑪ 仏教保育研修協賛

（公社）日本仏教保育協会への協賛金を拠出した。

【研修部会】会場：真宗大谷派宗務所

2016年9月12日、12月12日、2017年2月8日

## Ⅱ-2 資格認定事業

保育心理士のフォローアップポイント等の管理を適正に行うために、スマートフォンを利用した新システムの運用を開始した。また、保育心理士養成講座をWeb上で申し込めるサービスを2017年4月より開始した。

そして、同朋大学大学院において保育心理士養成課程（一種）を設置した。

なお、青森明の星短期大学における保育心理士養成課程（二種）は、2017年3月をもって終了した。

【保育心理士認定者数】1種：2362名、2種：475名（2017年6月末現在）

【保育心理士養成課程（一種）設置校】同朋大学大学院

【保育心理士養成課程（二種）設置校】九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、名古屋経営短期大学、飯田女子短期大学、子どもと保育研究所「ぷろほ」、東亜大学

### (1) 保育心理士養成講座

【本部主催分】

- ① 京都会場【会場：真宗教化センターしんらん交流館／真宗大谷派宗務所】  
第16期保育心理士養成講座《第1～4、修了式日程》  
期 間 2016年8月17日（水）～21日（日）
- ② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】  
《第1・2日程》 2016年7月2日（土）～3日（日）  
《第3日程》 2016年11月13日（日）  
《第4・修了式日程》 2017年1月28日（土）～29日（日）
- ③ 東京会場【会場：親鸞仏教センター（東京都文京区）】

《第3・4日程》 2016年9月10日（土）～11日（日）

《修了式日程》 2016年11月19日（土）

《第1・2日程》 2017年5月24日（土）～25日（日）

④ 名古屋会場【会場：同朋大学】

期日 2016年7月23日（土）、9月3日（土）、10月15日（土）  
11月26日（土）、12月3日（土）、2017年5月27日（土）  
6月17日（土）

(2) 保育心理士フォローアップ講座

保育心理士資格は5年間の有期資格であり、その資格更新のためにフォローアップ講座を開催した。

期日：2016年11月19日（土）

会場：親鸞仏教センター 講師：牧野桂一氏（保育心理士会代表）

(3) 連区、支部研修会での単位取得講座の開催

「保育心理士養成講座」及び「フォローアップ講座」を全国規模で展開するため、連区、支部とも共催して行った。

【連区・支部研修会】

支部・連区	開催期日・期間	
	養成講座	フォローアップ講座
東北連区		2017/6/17. 6/18
東海連区		
九州連区		
三条		
高田		2016/7/9. 11/5
岐阜		
岡崎		
名古屋		2016/9/9. 10/15. 2017/2/25
山陽		
日豊		

【エリア】

エリア	開催期日・期間	
	養成講座	フォローアップ講座
札幌	2016/8/6. 8/7. 11/5. 11/6. 12/3	2016/12/3
仙台	2016/11/13. 12/4. 2017/1/29. 2/5. 3/5. 3/26	
岐阜	2016/5/21-12/10	2016/5/21. 6/4. 9/10. 10/22. 11/5. 11/19
愛知		
神戸	2016/10/29	
兵庫	2016/11/5	
滋賀		2017/1/22
広島		

香川	2017/1/15. 1/29. 2/26	2016/10/29
大分	2016/9/17. 2017/1/8	
福岡	2016/6/25. 7/23. 8/20. 10/29. 11/5. 2017/1/14. 2/25	2016/7/22
長崎	2017/2/5	2017/2/5
熊本	2016/10/22. 10/23. 11/12. 11/13. 12/17. 12/18	2016/10/23. 12/18
宮崎		
鹿児島	2016/11/7. 2017/2/12. 5/14	2016/8/5. 8/6. 11/5

#### (4) 「保育心理士会員管理システム」稼働に伴う会員への周知活動

「保育心理士会員管理システム」でエリアマネージャー自身がスマートフォンやパソコンからエリア主催の講座参加者にフォローアップポイントを付与できるシステムが稼働したことに伴い、2017年1月20日(土)の「エリアマネージャー会議」にて出席者に操作方法を伝達し、システムの活用を促した。

#### (5) 保育心理士養成講座 Web 申込サイトの開設

スマートフォンやパソコンから本部主催(東京・名古屋・京都・九州)の保育心理士養成講座の受講申込ができる Web サイトを構築し、2017年度開講分の講座から受付を開始した。

#### (6) 保育心理士関係法規の整理

「大谷保育協会 保育心理士規程」「保育心理士会内規」「保育心理士資格の取得に関する規程」で規定されている内容について、必要な整理作業を行った。

#### (7) その他

##### ① 認定に関する諸会議

##### 【保育心理士認定委員会】

2017年1月21日(土) (エリアマネージャー会議終了後)

##### 【保育心理士会集会】第9回保育心理研究会と併催

期日 2017年1月22日(日)

会場 大谷大学

##### 【保育心理士講師集会】

年1回程度開催、期日・会場 未定

##### 【保育心理士会幹事会】

2016年10月28日(金)

2017年1月21日(土) (エリアマネージャー会議終了後)

##### 【エリアマネージャー会議】

会場：真宗大谷派宗務所

期日：2017年1月21日(土)

※第9回保育心理研究会前日に開催

- ② 保育心理士（2種）養成校との協議会  
今年度は開催なし。

### Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一環をになった。当協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

#### (1) 機関紙等の頒布

- ① 月刊誌「真宗保育」第407～418号を頒布した。

「巻頭コラム」は、主に常務理事が担当し、保育現場での現状や課題について執筆した。

また、幼児関係者からの寄稿「子どもたちの今」については、2016年度は勝浦眞仁氏、川井敬二氏、鎌仲ひとみ氏、蓮岡修氏に執筆いただいた。

- ② 「こどもニュース7」第11号を発行した。

2017年5月発行 テーマ「こどものうた2「そだつ」できました」

#### (2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

保育心理士養成講座や各種研修等の案内、協会発行の教材や協会関係者の出版物の広報等、適時情報発信を行った。

#### (3) 園児絵画展

園児の絵画を公募し、駅ギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただくとともに、情操教育の基礎となる仏教（真宗）精神を公開した。

期 間 2016年11月11日（金）～11月28日（月）

会 場 真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、  
および京都駅前公益地下ストリートギャラリー

出 展 76園、387点

#### (4) 熊本地震への支援対応

2016年4月14日以降に発生した「熊本地震」を受けて、2016年9月26日の総会において、協会内で勧募した義援金のうち200万円を熊本支部に手交し、熊本支部をはじめとする被災地域の復興に活用された。

#### (5) “こどものうた”事業

- ① 広報

『同朋新聞』2016年7月号において受賞作品名・受賞者名を報告し、『同朋新聞』2017年2月号においてCD製作の広報を行った。CDは全加盟園に配布し、活用・普及を促した。

- ② CD制作

音源は2016年8月～10月にかけて録音作業を行い、2016年11月にマス

タリング作業が完了した。2017年1月にパッケージデザインが完了し、2月下旬に1,000枚CDが納品された。

◆『こどものうた2 - そだつ-』CD【収録曲】

「大きくなって やさしくなって」

(作曲:中川ひろたか 作詞:渡辺英雄 歌:大谷保育協会京都支部研究委員)

「そらにむかって」

(作曲:木村雅信 作詞:井元仁江 歌:田原宏美)

「ひまわり」

(作曲:萬田一樹 作詞:壬生健太 歌:陽香(haruka))

(6) 花みどりの寄贈

“教育現場における日常的な仏事との接点づくり”への取り組みとして、宗派関係学校の<sup>大谷</sup>大学に「花みどり」を贈呈した。贈呈に際しては、協会内に寄付金を募り、趣旨に賛同いただいた方々から計144万6千円の寄付をいただいた。

(7) リーフレット等の啓発誌頒布

昨年度に引き続き、保育心理士資格の認知度向上と資格取得者数の増加を図るため、全国の保育施設(約9,000件)にダイレクトメール(はがき)で保育心理士養成講座の受講奨励を行った。

(8) その他啓発事業

① 「東本願寺お買い物広場」において各種教材の頒布を行った。

② 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。(現在、8カ園の加盟園が参加している)

#### IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

協会の活性化のために、加盟園交流研修会において、全国支部よりご参加いただく設置者・園長・後継者との情報交換や交流を行った。また、“こどものうた”制作を通して、協会としての音楽教材を普及促進し共有することを通して子ども達の宗教的情操の育成に取り組んだ。

##### (1) 人材発掘のための取り組み

協会事業運営への参画の呼びかけに応じた新たな人材を、新たに各部所員として任命した。

##### (2) 加盟園交流 研修会

(趣旨) 協会やそれぞれの園、地域を取り巻く時代環境の情報を交換する。  
また講演、加盟園訪問などを通して真宗保育理念を確認し共有する。

(期間) 2017年2月13日(月)～14日(火)

(会場) ①トラストシティカンファレンス・仙台(宮城県仙台市)

②みなと保育園(福島県相馬市)

(テーマ) 乳幼児施設の危機管理について

(講師) ①石塚昌志氏(宮城県名取市副市長・復興庁宮城復興局 復興推進官)

②和田信寿氏(みなと保育園園長)

(参加者) 26名

##### (3) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営しながら、協会未加盟の幼稚園、保育園、こども園に働きかけ、加盟園の増加に努める。

総務部と広報部が連携し協会の概要が一覧できる「公益社団法人大谷保育協会要覧(仮称)」(パンフレット)を作成する。

##### (4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

##### (5) 「真宗教化センターしんらん交流館」との連携

宗派の青少年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

##### (6) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布した。協会内の各種研修会等を掲載。

(7) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員の退職時に、各園より報告を受け感謝状を送った。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した際に祝電を送った。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。



## V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEB中心に適時公開した。

### (1) 管理業務の遂行

物品販売作業の軽減（特に請求書・領収書発行作業、在庫管理）を図るため、販売管理システムの活用を図った。

### (2) 協会IT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開し、社会的責任を果たす。また、協会のITインフラの維持運営を行った。また、協会保有データの保全と機密性を維持するとともに適時改善した。

### (3) 常務理事会に関する事項

（期日）2016年8月26日（金）、10月27日（木）、12月21日（水）、  
2017年2月27日（月）

### (4) 役員会等に関する事項

#### ① 理事会に関する事項

ア. 第10回（事業報告・決算承認）

期日 2016年8月25日（木）／会場 宗務所

イ. 第11回（役員選考）

期日 2016年9月26日（月）／会場 宗務所

ウ. 第12回（次年度予算・事業計画）

期日 2017年5月16日（火）／会場 宗務所

#### ② 第6回総会

期日 2016年9月26日（月）／会場 宗務所

### (6) 諸会議に関する事項

#### ① 正副部所長会

（期日）2017年4月18日（火）

#### ② 総務部会に関する事項

（期日）2016年7月20日（水）、10月14日（金）、12月9日（金）、  
2017年2月20日（月）

### 事業報告の附属明細書

該当事項はありません。